

# 7 詩 1 詩の種類

組		番号		氏名	
---	--	----	--	----	--

1 次の詩を読んで、詩の種類について説明した各文の [ ] にあてはまる言葉を答えなさい。

あどけない話  
高村光太郎

智恵子は東京に空が無いといふ、  
ほんとの空が見たいといふ。  
私は驚いて空を見る。  
桜若葉の間に在るのは、  
切つても切れない  
むかしなじみのきれいな空だ。  
どんよりけむる地平のぼかしは  
うすもも色の朝のしめりだ。  
智恵子は遠くを見ながら言ふ。  
阿あ多た羅ら山やまの山の上に  
毎日出てゐる青い空が  
智恵子のほんとの空だといふ。  
あどけない空の話である。

① 現代の話し言葉を使って書かれているので [ ] 詩である。

② 一行の音数にきまりがないので [ ] 詩である。

③ この詩の種類は、 [ ] である。

2

次の詩を読んで、詩の種類について説明した各文の  
あてはまる言葉を答えなさい。

相聞さうもん

芥川龍之介

また立ちかへる水無月の  
歎きを誰に語るべき。  
沙羅のみづ枝に花さけば、  
かなしき人の目ぞみゆる。

① 昔の書き言葉を使って書かれているので

詩である。

② 各行の音数にきまりがあるので

詩である。

③ 各行は七音と五音から成り立っているのでこの詩は  
の詩である。

調

④ この詩の種類は

である。